

暮らしから街づくりまで さまざまなお意見頂きました

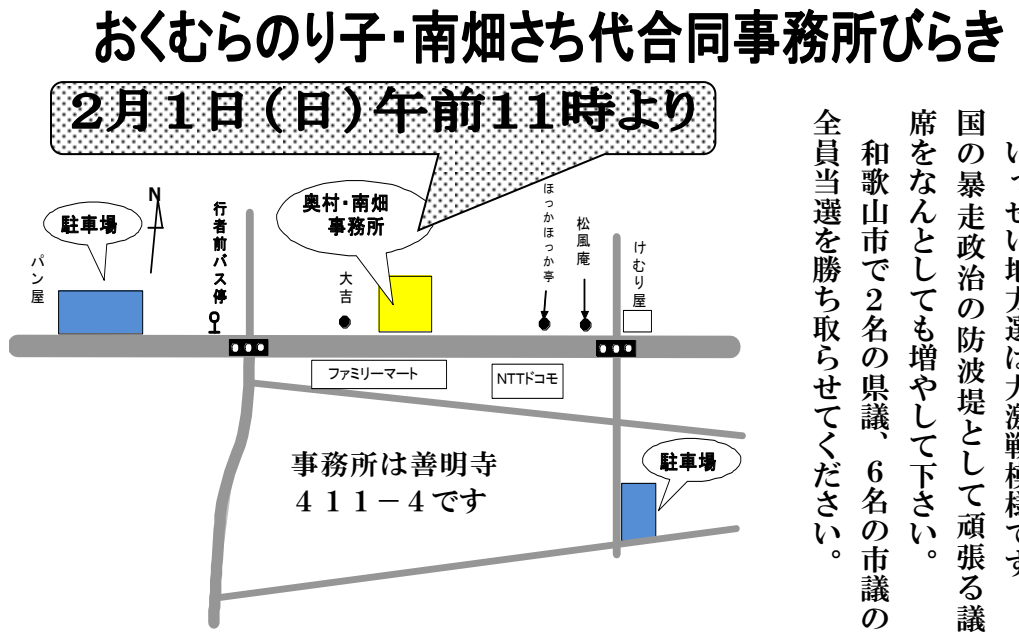
県議員 奥村のり子の 読者ニュース



2015年1月25日 第160号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

ぜひお越しください

いっせい地方選は大激戦模様です。
国の暴走政治の防波堤として頑張る議席をなんとしても増やして下さい。
和歌山市で2名の県議、6名の市議の全員当選を勝ち取らせてください。



おくむらのり子・南畑さち代合同事務所びらき

2月1日(日)午前11時より

- のり子の週刊口誌(主なもの)
- 1月26日 市駅寺宗像前早朝宣伝、地域訪問ツアー
 - 24日 会議 河北(さち代) 楠見後援会新春の会
 - 25日 河西後援会総会新年会 西後援会新年会、河北街宣、口中懇親会
 - 26日 介護施設訪問、事務所開設あじろ(のり子) 会議 産廃世話人会
 - 27日 県議団会議、県党社保部会
 - 28日 無料生活相談 街宣の自由を守る会学習交流会集會

1月17日、自宅近くの会場
で、城北後援会のみなさんとい
つしよに県政報告を中心に懇
談会を催しました。ご近所の
方をはじめ、元同僚や小学校
の同級生、民商の会員さんにタ
クシーの運転手をされている方
などさまざまの方がつどいま
した。渡辺忠広、中村あさとの
両市議と坂口多美子さんもご
あいさつしました。

語らいでは街づくりの課題
がいろいろ出てきました。自治
会の役員をされている方から
は「防災士の資格を生かしての



取り組みができれば」と。主婦の方
は「若い人が生活しやすい環境が
大事、体力開発センターのプール
が廃止され秋葉山へ行っているが
利用料が高く、家族で行けないと
言っている人が多い」。タクシーの運
転手さんからは、「観光政策でお
もてなしやラーメンタクシーなど
の取り組みを打ち出しているが、こ
の2年間何の支援もない」。年金

願いを私に託して

と合わせてやっと生活ができる状
況、若い人の仕事にならない」。民
商の方からは「消費税の増税で営
業がますます大変、国保も高い上
に税金を含め、取り立てが厳し
い」、「高野町などでは住宅・店舗の
リフォーム助成制度で仕事づくり
がすすんでいる」などたくさんの方
見が出されました。

「調査容認は撤回を」

山口地区滝畑に計画予定の産廃最
終処分場建設計画について、市が業
者に「生活環境影響調査実施計画書」
に基づく調査などの実施を認めた問
題で、共産党市議団は、昨年12月
26日、尾花市長に同調査容認を撤
回するよう要望書を提出し、今年一
月七日懇談をしました。

昨年12月議会の厚生委員会で、
市が依頼した専門技術委員の意見に
対し、的確な対応がしていないこと
が指摘され、共産党議員の「この状
態で『調査』の実施を通知するとい
うことはこの状態を納得したと言
うことか」の質問に産廃廃棄物課は「納
得していない」と答えています。
しかし、議会が終了した翌日、

滝畑産廃処分場問題で市長に申し入れ



尾花市長(中央)と懇談する
共産党市会議員団(1月7日)

市議会や地元住民らに「いっさい知
らせる事なく突然業者に「生活環
境影響調査実施計画書」に基づく調
査等について」の通知を出し調査
を容認しました。

市議団は住民の声に逆行するよ
うなやり方を批判し、市は「住民
のいのちと安全を守るという責任
を果たすべきだ」と撤回を求めま
した。
市長は「地元の方が反対してい
ることはもったもな事だ」とし
ながらも「決して早く許可するた
めとか不許可にするためにやった
のではない」としました。

党市議会議員 南畑さち代



リレートーク Relay talk リレートーク